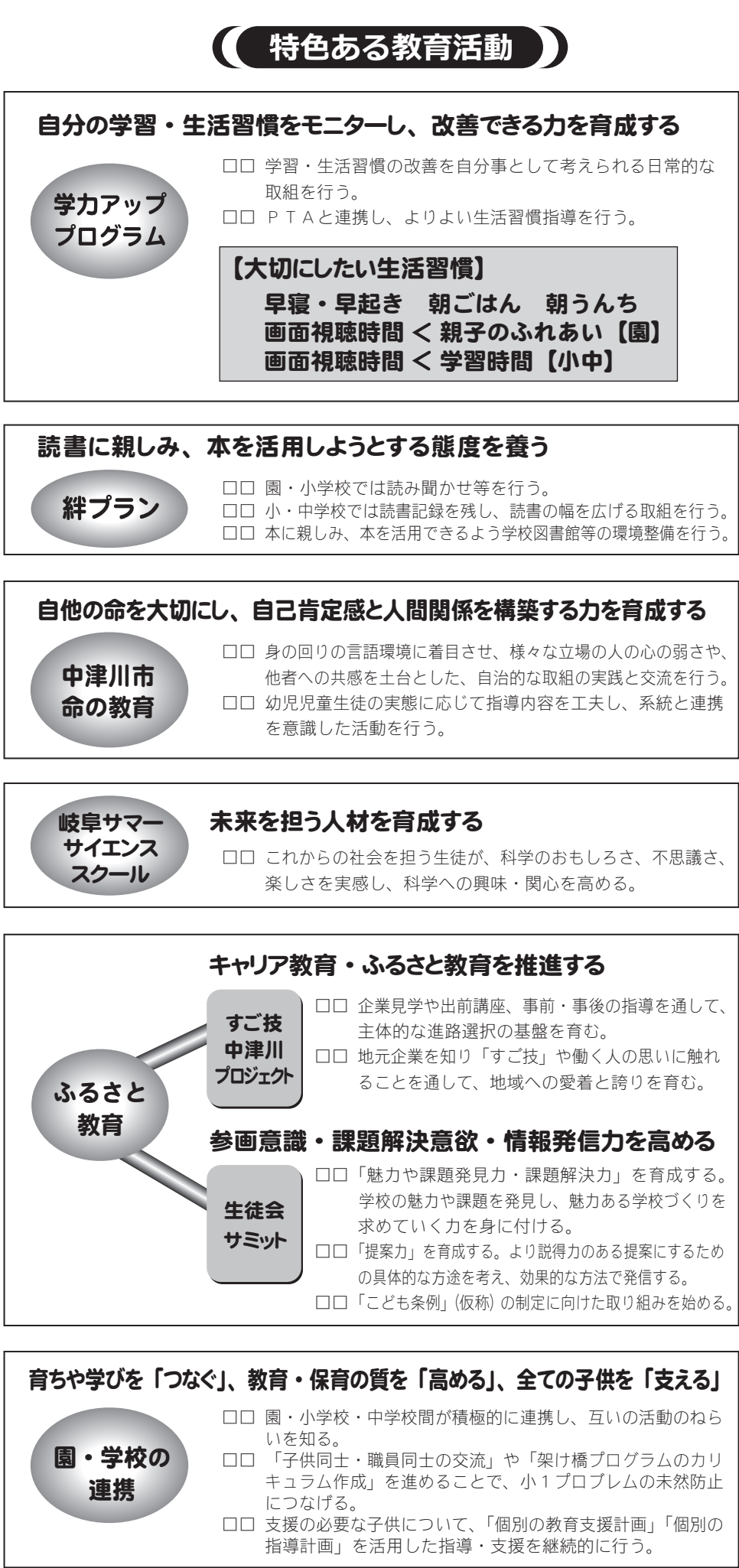




週 案 簿 等 貼 付 用 の り し ろ

幼稚園・保育園・こども園 重点指導内容

小学校・中学校 重点指導内容

「□」について
自身の分掌等について4月と10月に確認し、チェック
「レ」を入れてください。

★指導

聞く力・話す力の育成 体験や環境の工夫 計画的な指導
研修への主体的な参加

- 園児が「聞きたい」「話したい」と思える場を位置付け、「聞く力」「話す力」を付ける継続的な指導を行う。
- 園児が感じ、気付き、試し、表現することができる体験活動や環境構成（人・もの・こと）を工夫する。
- 園児一人一人の発達や特性を踏まえ、園内における指導内容の一貫性を意識した計画的な指導を行う。
- 主体的に研修し、園内で内容を共有したり、保育・教育事例や参観をもとにした園内研修を行ったりして、保育・教育力の向上に努める。

健康教育

★健康な心と体の育成 食育の推進 食の安心・安全の徹底

- 園児が楽しみながら体を動かすことができる保育・教育を工夫し、健康な心と体を育てる。
- 園、家庭が連携して食育指導を行い、園児が食べることを楽しみ、食べ物への興味・関心をもてるようにする。
- 全職員が食物アレルギー等、食の安全に関する正しい知識を身に付けるための研修を行い、発達年齢や個に応じた対応をする。

人権教育

自他のよさや違いを認める心 思いやりと温かい人間関係
教職員自身の人権感覚

- 園児の実態を踏まえ、自他のよさや違いを認め合い、思いやりと温かい人間関係の醸成につながる指導に努める。
- 人権教育の指導力向上のために研修を行い、職員自身が主体的に人権感覚を高める。

防災教育

防災に対する教職員の専門性の向上と安全管理体制の確立
自他の命を守る意識の醸成

- 防災についての専門性を高め、家庭・地域・関係機関と連携し、園児の「命を守り抜く」安全管理体制を確立する。
- 発達の段階や特性に応じて園児が自他の命を守る意識がもてるよう、様々な状況を想定して、命を守る訓練を行う。

指導力向上

教科指導

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

- 授業改善6項目を徹底する。
 - 出口の姿の明確化 自分の言葉で書くまとめ 課題意識の醸成
 - 適度な抵抗 判断の根拠・過程を問うこと 交流の質の向上
- 「指導と評価の一体化」による教師の授業改善及び児童生徒の学習改善を推進する。

キャリア教育

★自らを律する力の育成
将来の自己実現を促す効果的な活動の推進

- 自己実現の在り方について考える指導を通して、自己理解・自己管理能力を育てる。
- 地域と連携し、ねらいを明確にした体験活動を実施するとともに、事前・事後の指導を計画的に行う。

特別活動

自己指導能力と集団の自治的能力の育成

- 自己の生き方について考えを深め、新たな目標や課題意識がもてるように指導計画に沿って指導を行い、自己指導能力を育成する。
- 自己有用感を向上させる指導を通して、互いのよさを発揮しながら望ましい人間関係の構築や安心して学べる居場所づくりのための自治的能力を育成する。

特別支援教育

自立と社会参加を目指した、一人一人の教育的ニーズに
合わせた指導・支援の充実

- 一人一人の教育的ニーズを正しく理解し、学びの連続性を踏まえて、学校・家庭・関係機関が連携協働して指導・支援を行う。
- 園・小・中の連携のもと、継続的で一貫性のある指導・支援のために「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」を作成し、有効活用する。

ICT教育

I C Tを効果的に活用した確かな学力の育成

- 個別最適な学び、協働的な学びを効果的に行うためにI C T（生成A Iを含む）を授業や授業準備等で活用する。
- 安全で効率的なI C T（生成A Iを含む）活用を推進するために、校内研修を実施する。

道徳教育

生命を尊重し、夢や希望を育み、自己有用感を高める
道徳教育の充実

- 道徳教育の目標・重点内容及び育てたい資質・能力を中学校区で共有する。
- 道徳的価値の内的的自覚を深める発問を精選する。

外国語教育

グローバル社会で活躍できる力の育成

- 単元の出口の姿を児童生徒と共有し、「指導と評価の一体化」の視点から授業改善を進める。
- 日本と外国の言語・文化を理解し、英語でコミュニケーションする喜びを感じられる言語活動を推進する。

安全・安心

生徒指導

★不登校対策の充実 組織的な生徒指導体制の確立

- 学校が全ての児童生徒にとって「安心できる居場所」となるよう、校内教育支援センター等を整備し、保護者と連携して継続的に支援する。
- 成長を促すという視点に立った生徒指導を行うとともに、継続的な見届けができる組織的な生徒指導体制を確立する。

健康教育

★体力・運動能力の向上 食育の推進

- 児童生徒が自ら運動に親しむ環境を整備し、体力（持久力）・運動能力を高める。
- 学校給食を通して、食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身に付ける食育指導を行う。

人権教育

「認識力」「自己啓発力」「行動力」の育成

- 「いじめは絶対に許さない」という気概をもち、思いやりには欠ける言動に対して、「その場で指導しきる」教職員の共通行動を通して、児童生徒の人権感覚を育む。
- 「ひびきあい活動」を核とし、年間を通して行う取組において、児童生徒が取組状況を振り返り、改善するための活動を実施する。

防災教育

「自分の命を自分で守る」児童生徒の育成

- 職員一人一人が、「どんな場合に」「何をするか」を想定し、有事の際に動ける職員集団づくりを行う。
- 児童生徒が自分の命を自分で守ることができる「命を守る訓練」を工夫して実施することで、児童生徒等の防災安全への参画意識を醸成し、資質・能力を育成する。

園・学校経営で大切にしたいこと

機能的な運営体制の確立

- 教職員一人一人が責任を自覚しつつ、機能性のある運営体制を確立し、チームで対応する園・学校を構築する。

子供の命を守り抜く危機管理体制の確立

- 子供の命を守り抜くことを最優先に考え、危機意識を共有するとともに、情報を一元化するなど危機管理体制を確立する。

教育内容の質的向上を目指したデータの蓄積・分析と課題改善に向けたPDCAサイクルの確立

- 教育活動の成果を測るための指標を設定し、計画・実施・評価・改善のサイクルを機能させ、教育内容の質を高める。

長時間勤務・多忙化解消に向けた取組の一層の推進

- 時間外勤務時間が月45時間以内（小中）・月15時間以内（園）となることを目指し、教職員が笑顔で子供と向き合える園・学校体制を構築する。

服務規律の徹底

- 教育公務員としての使命を自覚し、自らの行動に責任がもてるよう意識を高める。

子供たちを導く資質、能力、意欲の向上

- 子供たち一人一人の状況を丁寧に見届けるとともに、「自らを律する力の育成」「不登校対策の充実」「体力・運動能力の向上」に重点的に取り組み、園・学校の組織としての教育力を高める。